

ミラクル構法は、こうして誕生した。

ミラクル構法開発STORY

発明

建設会社の社員として仕事をこなしていたある時、建て替え工事の担当になりました。現場を見ると建物は充分使用できるものでした。建て替えたい理由は一部屋の増築。増築も考えたけれど敷地が狭く、今の建物を壊し3階建てを新築する以外にない…。既設の基礎や柱は3階建てには構造的に無理なので新築を…との事でした。「これはもったいない」と痛切に思い、何か方法は？アイデアは？と頭をひねり、閃いたアイデアが「ミラクルスリー構法」だったのです。それから、安価に建てられ、心地よく住める、そんな新構法の開発に心血を注ぎました。1年の時間をかけて技術的な裏付けを確立し、画期的方法を完成。そしてその増築構法アイデアを「発明」として特許出願したのです。



会社設立

特許出願ののち、この「ミラクルスリー構法」を世に広めるべく、会社設立を決意。創業に向かって詳細な技術的検討、「ミラクルスリー構法」の商品化と並行してその技術的評価を得るため、奈良県から「中小企業創造活動促進法」の認定を取得。平成12年2月に個人会社として創業をしました。同年7月に法人化し、企業として本格的スタートを果たしました。

ビジネスプラン

折りしもバブルは弾けて世の経済が低迷している中の船出でした。しかもスタッフは団塊の世代、さてこれから我々ベンチャーはどうあるべきか？今までのような設計会社のスタイルや工事を請け負う従来のスタイルは止めよう、なぜなら建設業界は老舗と呼ばれる伝統ある会社、また名の知れた大会社でさえ倒産の



憂き目を見るほど低迷が続いている中、新しい風が必要だったのです。つまり斬新なビジネスモデルです。それはアイデアとして湧き出たミラクルスリー構法を知的財産として特許化、その特許性を軸に増改築方法として商品化の上、提携会社のみが使用できるノウハウとして特許の権利を提携ネットワーク展開させるモデルの構築であったのです。このビジネスモデルを「関西ニュービジネス協議会」主催のビジネスプランコンテストに応募。平成11年のクリスマスイブ、その協議会から、プレゼントのごとく、「大賞」受賞の連絡が届きました。ブラボー！そしてメリークリスマス！！

特許の取得

平成14年はミラクルスリーコーポレーションがその掲げているビジネスモデルの核となる知的財産、すなわち特許の第1号を取得した年になりました。ここにひとつの結実をみたのですが更に技術の開発を進めていきました。やがて「ミラクルセブン構法」「ミラクルイレブン構法」と低層建物から中高層建物へとその特許性を進歩させていくのですが、一方、いずれこの技術は国内のみならず諸外国からも注目を浴びるのではないかとの思いが生まれ、世界に目を向け、国際特許の取得に動き出したのもこの時期でした。



国交省の設計コンペ

平成17年、国交省の住宅政策、特に団地に対する政策が変更。古い建物は壊して新築を行うやり方から、古い建物を活用していくという方針になりました。併せて全国に向けて旧建物の活用方法、言い換えれば設計方法はどうか、コンペが行われました。大学研究室、設計事務所、建設会社など名だたる団体が応募する中、平成18年の春、当社設計案の採択が発表されました。そしてここから国交省とのコラボレーションが始まりました。



建築研究開発コンソーシアム

全国有数の建築関連技術会社が集まり、種々のテーマでグループを組み各社協力のもと、新しい技術をまとめ上げていく団体がコンソーシアムです。当社は平成19年に参加と同時に「団地再生」関連グループに入り、ミラクル構法の技術を提供しています。またそれらの技術の総集編とも言うべき冊子が発行されています。当社技術が多ページに渡って記事として記載され、またその冊子は各都道府県関連機関に配布、これからの団地再生計画に際し活用され、そして貢献するものと考えています。

国交省「住宅・建築先導技術開発事業」

国交省が建築に関する技術の開発事業を行う団体に対して助成する制度があります。その制度に「ミラクル耐震構法」として、新旧建物の耐震化を図る研究として開発計画を作成し、応募したところ採択されました。京都大学、大阪工業大学の先生方とともに平成20年度から3年間の開発プロジェクトが進んでいます。地震災害に対して新旧を問わず、増改築とともに建物の耐震化が可能なミラクル構法が生まれつつあります。

事業名称：長浜ミラクルステアーズ
所在地：滋賀県長浜市
用途地域：近隣商業地域 一般住居地域
(指定容積率)：(200%) (200%)
(指定建ぺい率)：(80%) (60%)
防火指定：無指定
主たる建築物の構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 5階建て
敷地面積：1,793.84㎡
建築面積：660.75㎡ 建ぺい率36.84% ※増築部分込み
延床面積：1,938.87㎡ 容積率36.84% ※増築部分込み
(既設部分1,808.35㎡、増築部分130.52㎡)
最高高さ：16.87m
施工期間：2006年12月着工、2007年4月完成

長浜ミラクルステアーズ 再生ドキュメント

before >>> after

長浜ミラクルステアーズ・リノベーション

ミラクルステアーズ構法の採用が決まったのは、もともと某企業の社宅として使用されていた建物。35年前に建てられた5階建てで、共用廊下やエレベーターのない「階段室型建物」。移動には階段での上り下りを余儀なくされていました。この構法によるリノベーションで、共用廊下と居室を直接つなぎ、エレベーターから部屋までの移動のバリアフリー化を実現。さらに、部屋やバルコニースペースの拡張、屋上には1坪菜園の設置、耐震性の強化などを実施し、団地再生の先駆けとなるプロジェクトとなりました。



2006.10月 着工前

外観(北面)



2006.10月 着工前

階段室



2006.10月 着工前

建物内部



2006.11月

内装撤去



2007.1月 工事着工

基礎工事



2007.1月

WAWO工法鉄骨製作



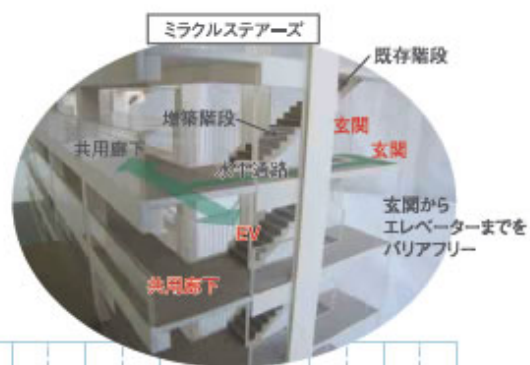
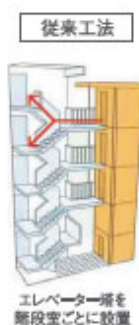
2007.2月

配筋工事

■ミラクルステアーズとは？

エレベーターのない集合住宅などに、共用廊下とエレベーターを設置する構法です。

高度成長期に建てられた集合住宅によく見られる「階段室型建物」。このような建物にはエレベーターがなく、お年寄りや足の不自由な方にとっては不便なものです。また、共用廊下もなく、避難経路の観点からも大変危険であることが指摘されています。ミラクルステアーズは、このような建物に共用廊下やエレベーターを設置して建物を再生できる構法です。



2007.2月 鉄骨建方(北面)



2007.2月 鉄骨建方(南面)



2007.2月 共用廊下コンクリート打設



2007.2月 階段室一部撤去



2007.3月 階段室施工



2007.3月 エレベーター前フロア



2007.4月 完成



建物内部



共用廊下